

町 島

議会不同意で教育長不在

福 真意不明 住民ら疑問の声

【福島】福島町は1日から教育長が不在となる異常事態に陥っている。町は9月の定例町議会で、任期満了に伴い、2期目に向けて現職教育長ら教育委員の選任案を出したが、町議会（溝部幸基議長）が不同意としたためだ。村田駿町長は「不同意になったことは残念。まずは教育行政の停滞を防がなければならない」としているが、この不同意の真意が判然としないため、地域住民からは「町民に開かれた議会を掲げ、全国的に素晴らしい賞を受けた自慢の議会だが、この一件だけは疑問」「なぜ不同意に至ったのかを明確にするべきだ」との声が挙がっている。

（田中陽介）

定例町議会は9月24日、金谷裕教育長（62）と熊野茂夫教育委員（59）の再任について、無記名投票で採決。金谷氏は賛成5、反対6、熊野氏

は賛成4、反対7で不同意となった。町は「2人とも任期中は熱心で、町の未来を見据えて各

種会合などに奔走してくれて

いた。2期目も頑張ってくれ

ると期待していたが…」と不測の事態に戸惑う。少子化による学校の統廃合問題などが

いう事態は避けなければならず、新人事案づくりを急ぎ、10月中旬には議会に再提案したい考え。

町内の男性は「無記名投票にする理由が分からない。議員の頑張りも認めているが、この不同意では落胆した人も多いのでは」と話す。

福島町議会は、議会・議員の自己評価制度やホームページを活用した議会資料の公開など、住民に向けた積極的な

情報公開を進め、地方議員の

政策コンテスト「マニフェスト大賞」（ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟など主催、早稲田大学マニフェスト研究所共催）では2006年に「審査員特別賞」、07年には最高位の「最優秀成果・議会賞」を受賞している。

今年3月からは通年議会を

多く、地域の実情を考慮する

形に映っている。

無記名投票について、議決権を持たない溝部議長は「採決は極力、意思表示が明確な起立採決を基本とするが、人事案については繊細な部分がある。

今年3月からは通年議会を

多く、地域の実情を考慮する